

ベスト3(生徒・保護者:「1」・「2」を選んだ割合、教職員:「1」を選んだ割合) ↑:改善 ↓:後退

	生徒	保護者	教職員
①	8 先生は、学級や学校のお知らせをていねいに説明している。(96%) ↑1	14 お子さんの学習成績は、適切に評価されている。(98%) ↑1	8 学校は、必要な情報を家庭に発信している。(85%) ↓7
②	7 先生は、気持ちや思いをよく受けとめ、接してくれている。(94%) ↓1	15 学校は、お子さんの健康管理に気を配っている。(96%) ↑4	15 学校は、健康管理に気を配っている。(85%) →0
③	11 先生は、生徒の健康管理に気を配っている。(93%) ↓2	1 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと言っている。(91%) ↑5 7 学校は、生徒や保護者の気持ちや思いをよく受けとめ、対応している。(91%) ↑8 9 授業参観等の回数は適切である。(91%) ↓9 10 学校は、ご家庭の教育に対する期待に応えている。(91%) ↑10 12 学校は、お子さんへのあいさつを始めとした生徒指導は適切である。(91%) ↓6	3 生徒は、体育祭や学習発表会など、各種の行事に楽しく取り組んでいる。(77%) ↑8 7 学校は、生徒や保護者の気持ちや思いをよく受けとめ、対応している。(77%) →0 13 学校は、部活動を熱心に指導している。(77%) ↑31

ワースト3(生徒・保護者・教職員:「3」・「4」を選んだ割合) ↑:改善 ↓:後退

	生徒	保護者	教職員
①	5 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。(29%) ↑4	5 お子さんは、授業でわからないことについて、先生に質問しやすいと言っている。(36%) ↓6	11 学校は、PTA組織とうまく連携し、有効な活動を実施している。(15%) ↓7
②	4 授業はわかりやすい。(16%) ↑7	4 お子さんは、授業はわかりやすいと言っている。(32%) ↓8	12 学校は、あいさつを含め生活全般にわたる生徒指導は行き届いている。(15%) ↓7
③	12 部活動の活動時間はちょうどいい。(16%) ↑9	6 お子さんは、毎日の宿題や提出物がきちんとできている。(21%) ↓5	2 生徒は、積極的、主体的に部活動や生徒会活動に取り組んでいる。(8%) ↓8 5 教員は、生徒が疑問を抱き、進んで学ぼうとする授業づくりに取り組んでいる。(8%) ↓8 16 学校、業務改善や働き方改革に取り組んでいる。(8%) ↑7

【成果】 生徒、保護者のベスト3の項目から生徒たちは「安心して学校生活を送ることができている」と考えられる。情報発信、情報連携を密にし、ていねいに子供たちや保護者に対応していることが背景にある。

【課題】 ○「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」、「授業はわかりやすい」の項目について、次の4点を改善策とする。①授業時間での質問しやすい雰囲気づくり(ゆとりある教育課程)②振り返りシートによるフィードバック(振り返りの時間を設定し、出てきた疑問に対し、次時に補充)③基礎学力(言語能力)の向上(新聞記事の書き写しや要点記述)④授業力向上(教職員の相互授業参観等)

○「部活動の活動時間」について、個人個人によって、「長くしてほしい」、「短くしてほしい」の両方もが考えられる。また、生徒の記述アンケートから「部活動の休みを増やしてほしい」、保護者アンケートからも「部活動が連日となる場合は、どこかで休みをいれてほしい」という要望がある。逆に、保護者アンケートからは「やる気を活かすためにも自主練習を認めてほしい」との要望もある。部活動の適正化をめざす部活動活動方針の確実な運用を図りながら、生徒が主体的に取り組むことができる効率的・効果的な練習を計画する必要がある。